

医療画像の増加に伴うQoSの導入

【導入の背景】

National Surgical Hospital社のネットワークでは、サードパーティMPLSサービスをプライマリリンクとして、各拠点と本社を接続しています。バックアップリンクにはVPN接続も使用しています。当初は本社から拠点へのトラフィックがほとんどでしたが、近年は拠点から大量の画像ファイルなどが本社に送られるようになり、電話もつながりにくいと苦情を受けるようになりました。

【課題】

①画像データなどの通信量が多いアプリケーションから、基幹アプリケーションや電話などのトラフィックを保護するために、これまで放置されてきたWANのQoSによる制御が必要になった。

【ソリューション】

LiveActionという、視覚的なQoS管理ソフトウェア

【導入製品】

◆LiveAction

企業プロフィール

National Surgical Hospitals

National Surgical Hospitalは、革新的なヘルスケア企業です。医師や企業が所有する病院のために、フルレンジの投資、開発、管理サービスを米国全土で提供しています。東海岸から西海岸までの20以上ものコミュニティをサポートしており、各施設が「効率的でフレンドリー、コストパフォーマンスに優れたケア」を提供しています。

本社:米国イリノイ州シカゴ
URL: <http://www.nshinc.com>

【お客様の成果】

- LiveActionのグラフィカルQoSポリシー編集/展開機能により、初めてQoSの実行前後を目で見えて確認し、評価できるようになった。
- 電話に関する苦情がなくなった。
- 時間を節約してくれたため、他の仕事ができるようになった。
- 帯域を消費するディスクバックアップ操作を最も空いているバックアップリンクに割り当てることで、大量のMPLSキャパシティを解放し、パフォーマンスを強化できた。
- 数年前に停止していたと思っていた数台の古いデバイスが通信していることがわかり、交信を遮断することができた。

【お客様のコメント】

「セキュリティはここでは非常に重要です。QoSとWAN運用を単純化できるツールを持つことで、今までそれに使っていた時間をHIPAAコンプライアンスなどのクリティカルな問題にあてることができるからです。」

Chris Paalman
シニアネットワークシステムズエンジニア
National Surgical Hospital